



38th Annual Meeting of the Japanese Environmental Mutagen Society

日本環境変異原学会

第38回大会(静岡)

～ 環境変異原研究の温故知新 ～

■ 特別講演「抗変異・抗発がん機構」

L.R. Ferguson (The University of Auckland, New Zealand)
「Antimutagenesis studies.

Where have they been and where are they heading?」

中村好志 (相山女学園大学 生活科学部)

「お茶のがん予防研究が抗変異・抗発がん研究に
残したものとこれからの課題」

■ シンポジウム

1. 生活習慣・環境因子とバイオマーカー
2. 環境と食の安全性にサイエンスが果たす役割
3. エピジェネティクス -環境変異原研究の新しい展開-

■ ワークショップ

これからの遺伝毒性試験 -ICHとIWGTでの議論を受けて-

■ 一般口演

■ ポスター発表

■ 企業展示

■ 一般公開講座「環境と食品の安全性を皆で科学しよう」

木苗直秀 (静岡県立大学)

布柴達男 (東北大学大学院 生命科学研究科)

2009年11月25日(水) 18:00-20:00 於: 静岡県立大学 (無料)

■ 演題受付締切: 8月31日(月)

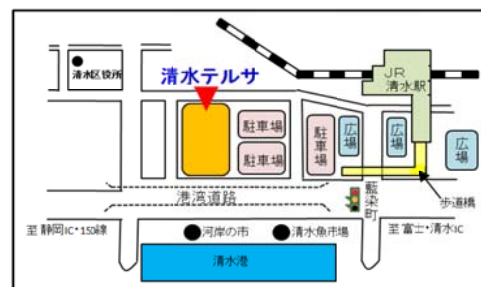
■ 事前登録締切: 10月16日(金)

大会長: 下位香代子

(静岡県立大学環境科学研究所)
大学院生活健康科学研究科 環境物質科学専攻

開催場所: 清水テルサ

(静岡市東部勤労者福祉センター)



東海道新幹線静岡駅 → JR東海道本線上り(約10分)
→ 清水駅(東口) → 徒歩約5分

【主催】 日本環境変異原学会第38回大会組織委員会

【共催】 静岡県立大学
静岡県立大学グローバルCOEプログラム

【後援】 内閣府食品安全委員会
静岡県立大学環境科学研究所

2009年11月26日(木)~27日(金)

<http://www.JEMS2009.u-shizuoka-ken.ac.jp/>

— 日本環境変異原学会第38回大会事務局 —

静岡県立大学環境科学研究所 生体機能学研究室内 (総務: 神原啓之、会計: 熊澤美智子)
TEL&FAX: 054-264-5792、e-mail: jems2009@u-shizuoka-ken.ac.jp